

2009年6月29日

九州事業継続ブリッジ投資事業有限責任組合（愛称：九州ブリッジファンド）

## 第4号投資先企業 決定のお知らせ

残留農薬分析検査のリーディングカンパニー

### 「株式会社キューサイ分析研究所」に出資決定

株式会社ドーガン・インベストメンツ<sup>(\*)</sup>（本社：福岡県福岡市 代表取締役 森 大介）は、管理運営を行う「九州ブリッジファンド」（以下「当ファンド」）の第4号投資先企業として株式会社キューサイ分析研究所への出資を決定致しました。詳細は下記のとおりです。

<sup>(\*)</sup>株式会社ドーガン・アドバイザーズが100%出資するファンド運営子会社です。



#### ■第4号投資先企業/株式会社キューサイ分析研究所について

株式会社キューサイ分析研究所（本社：福岡県福岡市/代表取締役 江畑 賢一、以下「同社」）は、キューサイ株式会社（本社：福岡県福岡市/代表取締役 藤野 孝、以下「キューサイ」）において、主力製品である『青汁』原材料の残留農薬分析検査を行う研究所として設立されました。

以降、公正・中立な立場として残留農薬分析検査を確立するために、キューサイより独立した法人となり、厚生労働省認可の『登録検査機関』として国内食品メーカーなどに対し、加工食品を含め食品内における残留農薬分析検査サービスを提供する国内有数の企業に成長しております。

同社は、独自の技術を用いて多種類の農薬等を一斉に検出する技法に強みを持ち、その一斉検出数（662種/2009年6月29日時点）においては業界トップレベルの技術水準を誇っており、その信頼性の高い分析検査を通じて世の中へ「食の安心・安全」を広く提供することを経営理念とし、国内において日々高まるニーズに応えるべく今後も発展が期待される企業です。

また、2009年2月には通標標準技術服務有限公司（SGS-CSTC<sup>\*</sup>）と業務協力合意書を締結し、中国市場に進出を果たし、現在の日本の食品輸入国でもある中国にて、国内の検査能力とノウハウを活用し、食の安全を提供しております。

<sup>\*</sup>通標標準技術服務有限公司（SGS-CSTC）はSGS本部と前国家質量技術監督局に属する中国標準技術開発公司（CSTC）によって、1991年に設立された中国現地法人です。SGSはスイスに本部を置き、一世紀以上の歴史を持つ世界最大級の認証・検査・分析業務を行っており、全世界1,000箇所以上の事業所と実験室、55,000人を超える従業員を擁しているグローバル企業です。

この度、同社の主要株主である NIF-JIP 投資事業組合ほか 4 名の株主は、同社の円滑な事業の継続・承継を目的として、保有する同社株式を当ファンド（および株式会社トーホー）に譲渡することに関し、株式譲渡契約書を締結致しました。

なお、キューサイにおいては、引続き同社の筆頭株主として引き続き経営にご参画頂き、今後も同社は『キューサイ分析研究所（Q'KEN）』ブランドを維持し、営業を継続して参ります。

今般、当ファンドは同社が日本国内における強固な事業基盤・営業基盤を有しており、さらには SGS グループとの提携により中国を中心とした海外展開を行うことで同社事業の更なる発展が十分可能と判断し、投資先企業として選定を行いました。また、今後は事業パートナーとして、株式会社トーホーとコンソーシアム（後述）を組むことで、同社の営業基盤の更なる拡充などの業務提携・共同経営を視野に入れた連携・協力体制を整えて参ります。

### ■本件投資の意義

当ファンドは、主に九州地区の中小企業の事業承継・事業継続を支援し、九州経済を活性化させることを目的として、独立行政法人中小企業基盤整備機構のほか、九州を代表する地域金融機関 6 行（鹿児島銀行、佐賀銀行、十八銀行、筑邦銀行、西日本シティ銀行、肥後銀行）〔五十音順〕の出資により設立された、地域特化型のバイアウトファンドです。

本件の出資に際しては、①食品検査サービス市場、とりわけ残留農薬分析市場について、2006 年のポジティブリスト制度施行後急激に成長し、今後も年率 5-10%程度の成長が見込めること、②SGS グループとの業務協力体制により中国市場へ進出することで更なる企業価値の向上が見込まれ、ひいては九州地域経済の発展に資する企業であること、③当ファンドの本件出資により後継者候補への円滑な事業承継に大きく寄与するものと判断し、本件出資を決定いたしました。上記ファンド出資者からも、同社の事業承継を円滑に行うことで、地域経済の活性化に資するものと高く評価いただきました。

### ■株式会社トーホーが共同スポンサーとして参画

今般同社への投資について、株式会社トーホー（本社：神戸市東灘区/代表取締役 上野 裕一、以下「トーホー」URL: <http://www.to-ho.co.jp/>）と共同投資を行い、事業戦略パートナーとして業務提携・共同経営を視野に入れた具体的な連携・協力体制を構築して参る予定です。

【株式会社キューサイ分析研究所 会社概要】

会社名	株式会社キューサイ分析研究所	
事業内容	食品の安全及び栄養成分に関する物質の分析及び情報の提供	
設立	2003年1月24日	
本店所在地	福岡県福岡市中央区草香江一丁目7番16号	
主な事業所	中央研究所（宗像）、東京営業所、中国駐在所	
ホームページ	<a href="http://www.nouyaku-bunseki.net/">http://www.nouyaku-bunseki.net/</a>	
代表者	代表取締役 江畑 賢一	
資本金	10,000 千円	
従業員数	93名（2009年5月31日時点）	
株主構成	キューサイ株式会社	49.0%
	NIF-JIP 投資事業組合	28.0%
	その他株主	23.0%

— 株式会社キューサイ分析研究所 外観 —



— 株式会社キューサイ分析研究所 分析機器 —



■ 「九州事業継続ブリッジ投資事業有限責任組合」概要

ファンド総額	49 億円
ファンド形態	投資事業有限責任組合
無限責任組合員	・株式会社 ドーガン・インベストメンツ <a href="http://www.dogan.jp/">http://www.dogan.jp/</a>
有限責任組合員 (五十音順)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・鹿児島銀行 <a href="http://www.kagin.co.jp/">http://www.kagin.co.jp/</a></li> <li>・佐賀銀行 <a href="http://www.sagabank.co.jp/">http://www.sagabank.co.jp/</a></li> <li>・十八銀行 <a href="http://www.18bank.co.jp/">http://www.18bank.co.jp/</a></li> <li>・筑邦銀行 <a href="http://www.chikugin.co.jp/">http://www.chikugin.co.jp/</a></li> <li>・中小企業基盤整備機構 <a href="http://www.smrj.go.jp">http://www.smrj.go.jp</a></li> <li>・西日本シティ銀行 <a href="http://www.ncbank.co.jp/index.html">http://www.ncbank.co.jp/index.html</a></li> <li>・肥後銀行 <a href="http://www.higobank.co.jp/">http://www.higobank.co.jp/</a></li> </ul>
投資対象	<ul style="list-style-type: none"> <li>・主な拠点が九州圏内（九州各県・山口県・沖縄県）にあり、優れた技術やノウハウを持っているが、後継者の不在等により、新商品の開発、新事業の開拓等、新たな事業展開が困難となっている中小企業</li> <li>・地域経済、地域社会に貢献している社会的意義のある企業</li> </ul>
主な投資形態	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 株式（普通株・優先株）・持分新株予約権 ・ 社債 ・ 新株予約権付社債</li> <li>・ その他の有価証券 ・ 金銭債権 ・ 匿名組合出資の持分 ・ 不動産投資の受益権</li> </ul>

・ 本件に関するお問い合わせ

(株)ドーガン・インベストメンツ <http://www.dogan.jp/>

〒810-0041 福岡市中央区大名 2 丁目 4-22

TEL : 092-739-2311 (担当 : 中西) FAX : 092-739-2317 E-mail : [nakanishi@dogan.jp](mailto:nakanishi@dogan.jp)